

リニア新時代の “こうふく”なまちを 公民連携で実現へ

開催報告

未来のこうふまちづくりミーティング #01

11月22日、市長と深澤直人※さんがリニア新時代の本市などの将来像やリニア駅前のまちづくりのあり方を提案する、第1回まちづくりミーティングを開催しました。

※本市出身の世界的プロダクトデザイナー。昨年度、リニア開業に向けてまちの価値を高めるべく、デザインの視点から専門的助言を得るために設置した「甲府市リニアまちづくりデザインディレクター」に就任いただきました

甲府市は、リニア開業に向けたまちづくりスローガンを「こうふを、こふくにする」と提案。リニア新時代に甲府・山梨で実現可能な幸福を「こふく」と定義し、それが市や甲府圏の文化として定着する「こうふく文化醸成都市圏」を目指しました。

市や圏域全体に「こうふく」を波及させるためにも、まずは甲府駅・リニア駅の二つの異なる性格を持つ拠点において、こうふくを創造させることが重要とし、特にリニア駅前エリアにおいては、環境配慮の取り組みを進め、積極的な緑化空間の中に、どのような機能を導入するか、三つのシナリオを提案。深澤さんからは、そのシナリオの一つのコンセプトを

こうふく文化醸成都市圏に向けて対話の加速を

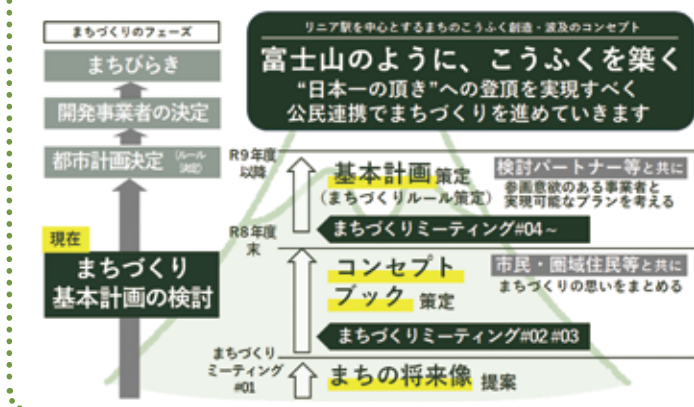


▲今回、市や深澤さんがイメージを示したのは主に駅南側エリア。今後、駅前エリア全体での調和のあるまちづくりの実現を目指します

突き詰め、リニア駅前に「こふく」の森を整備し、それを核に圏域全体に緑化の取り組みを広げるイメージが示されました。

今後は、これらの提案を起点に皆様と対話を行うべくさまざまなミーティングを開催する中で、リニア駅前のシナリオを整理し、来年度末までの「コンセプトブック」策定を目指します。

今後の公民連携のまちづくりの進め方



新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、本年は「午年」であります。古来より、午は力強く大地を駆ける姿から「前進」や「躍動」の象徴とされてきました。私もこの「午年」の勢いにあやかり、力強く市政を推進し、駿馬のごとく、大きく飛躍する一年としてまいりたいと存じます。

本市では、これまで「第六次甲府市総合計画」をまちづくりの揺るぎない指針とし、人・まち・自然という本市の財産を高め共生し、明日への希望につながる明るい未来の創造に向けて、子育て・高齢者支援や観光・商業振興など、あらゆる分野にわたる施策を着実に推進してまいりました。

また、昨年11月には「未来のこうふまちづくりミーティング#01」を開催し、リニア時代における本市の将来像や具体的なリニア駅前エリアのイメージを市民や関係者の皆様と共有する中で、ゼロベースから創り上げるリニア駅周辺のまちづくりが動き出

したところであります。

そして、本年4月からは、新たな指針となる「第七次甲府市総合計画」をスタートさせ、市民の皆様が、夢や希望をもって生き生きと暮らすことができる本市の明るい未来を紡ぐ確かな歩みを力強く踏み出してまいります。

今後におきましても、リニア駅周辺整備をはじめ、遊亀公園附属動物園のリニューアルや岡島百貨店跡地の再開発など、本市の価値と魅力を一層高める事業を着実に進めるとともに、甲府に関わる全ての方々と連携・協働しながら、これまで先人たちの手によって築き上げられてきた素晴らしいまちが、さらに発展し、誰もが幸せを実感できるよう、甲府らしさを活かしたまちづくりを進めてまいります。

本年が皆様方にとりまして、希望に満ち、笑顔あふれる一年となりますよう、心より祈念申し上げます、年頭の挨拶とさせていただきます。

甲府市長 樋口雄一

こうふを、こうふくにする

甲府市が提案する、**3**つのシナリオに基づくまちづくりイメージ

シナリオ①「憩いの追求」から、こうふくにする



シナリオ①「憩いの追求」

駅前エリアに配置する機能は最小限に抑え、広場や緑地などを中心とした空間をイメージ

シナリオ②「産業振興」

産業イノベーションを目指し、研究開発施設や産業振興施設、オフィス等が立地する空間をイメージ

シナリオ③「新たな暮らし方」

生活系用途を多く配置し、地元住民だけでなく移住者や研究者などが滞在しやすい空間をイメージ

▶ これらは建物用途や配置等を仮定したものであり、今後これらを詳細検討し、実現するために必要なまちづくりルールを定めます

シナリオ②「産業振興」から、こうふくにする



シナリオ③「新たな暮らし方」から、こうふくにする



「憩いの追求」、「産業振興」、「新たな暮らし方」

深澤直人さんが提案するまちづくりイメージ “緑が多いほど、まちの幸福が大きくなる”との考えから、リニア駅前の森づくりを提案。

「じゅうふくの森」から、盆地の緑化へ



新山梨環状道路上空からリニア駅前エリアを望む



南側交通広場



駅舎から続く歩行者道



溪谷のような水路

2・3 ページで紹介しているコンセプトやイメージは検討中のものであり、今後皆様と対話を行う中で、検討を深化させていきます。



◀「未来のこうふまちづくりミーティング #01」の当日の資料や動画を、市HPにて公開しています。ぜひご覧ください



▲当日はインターネット配信も行い、市民や民間事業者など合わせて約200人が参加・視聴しました